

プレスリリース: 2016年06月06日  
トピック: ソフトウェア/ITサービス

## ヒューレット パッカード エンタープライズ、政府機関とグローバルエンタープライズを対象に、データ中心のセキュリティへの取り組みを強化

- NIST準拠のデータセキュリティ手法を提供、データ侵害を軽減し、欧州委員会のGDPRなど、データプライバシーのコンプライアンス規制遵守を実現 -

2016年6月6日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

本リリースは、ヒューレット パッカード エンタープライズ(本社: 米国カリフォルニア州パロアルト、以下: HPE)が、2016年5月10日(現地時間)に米国で発表した英文リリースに基づいて作成した日本語抄訳です。

ヒューレット パッカード エンタープライズ(HPE)は本日、「HPE SecureData」に対応した「Hyper FPE (Format-Preserving Encryption)」および「Hyper SST(Secure Stateless Tokenization)」を全世界で提供開始することを発表しました。新しい「Hyper FPE」テクノロジーは、EUの一般情報保護法(General Data Protection Regulation : GDPR)の要件への遵守が求められる政府機関、グローバルエンタープライズ、欧州企業を対象に、NIST準拠の実績ある手法で使用データ、保存データ、実行データを保護します。

クラウド、ビッグデータ、IoT(Internet of Things)の登場により、攻撃エリアは急速に拡大しており、データ中心のアプローチによって自社の機密情報のセキュリティを守ることが不可欠となっています。セキュリティ侵害の際には、強力かつ包括的な暗号化とトークン化により、盗まれたデータを攻撃者にとって役に立たない状態にすること(無害化)で、金銭、経営、評判への影響を軽減できます。

ヒューレット パッカード エンタープライズのHPE Security - Data Security担当バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるアルバート・ビケチ(Albert Biketi)は、次のように述べています。「ネットワークの境界線がなくなりつつある中、企業は現在、攻撃者が実際に追い求めているデータを保護するという課題に直面しています。HPEの新たなデータ中心Hyper FPEソリューションとHyper SSTソリューションは、次世代の暗号化とトークン化により、お客様のデータセキュリティ体制を強化しつつ、規制コンプライアンスの遵守も保証します。」

### 〈「Hyper FPE」により、データ主導型経済における新時代の暗号化を実現〉

「Hyper FPE」は、PCI(Payment Card Information)、身分登録番号、社会保障番号など、既存および新規のプライバシーの枠組みで求められる、個人ならびに構造化データの個人情報を保護しつつ、本来のデータ形式を保持するのに不可欠です。「HPE Hyper FPE」は、コネクテッドカーのIoTシステムやコネクテッドホームの使用事例での機密情報保護にも最適化されています。こうしたケースでは、データセキュリティとプライバシーの要件に対応するため、位置情報、モバイル機器の個人識別子、メーカーのIDコードの匿名化が求められます。

「HPE SecureData」および「Hyper FPE」テクノロジーは、保守的なシナリオで暗号化のパフォーマンスを最大170%高速化し、今日の実績ある高速FPEテクノロジーを基盤に、次世代のビッグデータ、クラウド、IoTのシナリオの大容量ニーズにも対応します(\*1)。その結果、強力な暗号化スキームが実現しており、既存のアプリケーションやデータベースの運用面の修正は最小限ですみ、お客様にとっての複雑性を大幅に軽減できます。

### 〈「Hyper SST」によるデータセキュリティの強化〉

企業、加盟店、決済処理機関は、PCIなどの高価値の機密データの保護という課題に直面しており、以前にも増してコンプライアンス調査の厳しい、PCI DSS(Payment Card Industry Data Security Standard)およびデータプライバシーに関する法律を遵守する必要があります。高まる複雑性やコストにお客様が対応できるよう支援するため、「HPE SecureData」および「Hyper SST」は、トークン化に関してより強力な特許取得済みのアプローチを展開することで、トークン化プロセスの速度、拡張性、セキュリティ、管理性を最大限に高め、既存の「HPE SST」のトークン化パフォーマンスを効果的に倍増します。

### 〈販売開始時期〉

「HPE Hyper FPE」および「HPE Hyper SST」は現在、「HPE SecureData」の機能として全世界で提供しています。エンタープライズ、クラウド、ビッグデータ、決済、モバイルデータキャプチャ、ミッションクリティカルな各種システムを通じ、データセキュリティによってコンプライアンス、ガバナンス、リスクの削減に対応しています。

### HPE Securityについて

HPE Securityは、企業がセキュリティを組織構造に組み入れ、高度な脅威を検出して対応し、継続性とコンプライアンスを保全してリスクを効果的に軽減することで、事業の根幹に関わるデジタル資産の保護をサポートします。市場をリードする製品、サービス、脅威対策、セキュリティ調査からなる総合的なパッケージを活用して、HPE Securityは企業が保護とイノベーションのバランスをとりながら今日のアイデアエコノミーに対応し続けることができるよう応援します。HPE Securityについての詳細は、<https://www.hpe.com/us/en/solutions/protect-digital.html> をご覧ください。

\*1: パフォーマンステストでは、6コアの「HPE DL360 Gen 9」プラットフォームを使用

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

# # #

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>

---